

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 469 号	氏名	岡本 辰哉
学位審査委員	主査	川上 純	
	副査	大園 恵幸	
	副査	伊藤 敬	
論文審査の結果の要旨			
1. 研究目的の評価 本研究の目的は、膵島移植レシピエントにおける十分量の亜鉛投与と膵島移植成績を検討するもので、目的は十分に妥当である。			
2. 研究手法に関する評価 通常飼料および高亜鉛食を摂取させた雄のウィスターラットにストレプトゾシンを投与し、糖尿病ラットを作成。その後、これらラットに単離・純化した膵島を経門脈的に肝臓内に移植している。膵島移植の効果は血糖値から判断するグラフト不全と移植された膵島の組織学的な検討から評価され、研究手法は妥当である。			
3. 解析・考察の評価 高亜鉛食を摂取したラットでは、血清亜鉛濃度は高値を示した。また、上記手法で解析した結果、高亜鉛食を摂取したラットでは血糖コントロールは良好で、グラフト不全発生率は低かった。これらラットでは組織学的にも膵島は良好な形態を維持していることが明らかとなった。これらの結果は膵島移植レシピエント候補に亜鉛補充を行うことは膵島保護に有用であり、今後の膵島移植の治療研究への進展が大いに期待される。			
以上のように本論文は膵島移植の治療研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。			